

(1) 開会

(2) 校長挨拶 学校運営協議会では積極的なご意見を伺い、学校運営に反映していきたい。

(3) 協議

① 令和元年度学校教育自己診断アンケートの検討項目と回答について

(担当首席より報告・説明)

保護者アンケートについて

- 他校との交流について。高等部は高津高校との交流を行っている。小中学部については希望により居住地交流を行っている。高等部については交流行事がアンケート配布時に実施されていなかったため周知できなかったと考えられる。交流だよりを毎学期ごとに配布し、お知らせするとともに HP にも交流及び共同学習のブログを開設し随時掲載を行っている。そのことについても今後周知をはかっていく。
- ボランティアについて中学部と高等部生活課程で行っている。ボランティアだよりの発行や HP での掲載を行っているが周知されていないのが現状。来年度は各学部・課程で学習サポート活動を利用し、活動の様子を外部人材活動専用ブログを開設し、随時掲載し周知をはかっていく。
- 学校ホームページについては、今年度 HP をリニューアルした。保護者の興味関心を広げる取り組みを継続して行う。

(委員)

PTA でも HP を見てもらうように呼び掛けている。修学旅行の様子など HP に掲載されていることを知らない保護者もいる。知れば見る人も増える。

教員と保護者間の意識差の検討について

(担当首席から報告・説明)

- 進学・進級時の引継ぎについて  
校内での引継ぎ機会を入学・進級前後の2回実施を予定している。より具体的な児童生徒の情報や指導内容について引き継げるようにする。
- 個人情報について  
基本的には全校で行っている個人情報保護の対応策に準じて対応している。今後もより徹底していく。

(委員)

個人情報保護については対応していると思うが、2重3重のガードをしてほしい。

② 平成31年度学校経営計画の対応まとめについて

(校長より報告・説明)

今年度の目標はおおむね達成できた。

・ボランティア活動と学校ホームページについては保護者がイメージし易いように見せ方を工

夫し、引き続き取り組んでいく。

(委員)

- ・会議のない日を設定し増えたことについては、働き方改革が言われている中で、現場の努力で実行されていることはたいへん良い。
- ・学校見学会については、他学部の様子も見ることができ良い。扉が閉まっっていて、入りにくいので配慮をお願いしたい。

(校長)

学校見学会については、見学に入りやすいよう工夫する。

### ③令和2年度学校経営計画について

(校長より報告・説明)

目指す学校像と中期目標については大きく変わっていない。

- ・医療的ケアの体制整備と保健室と給食室の連携による健康教育の実施について、明確化する。
- ・地域と連携した防災対策を確立する。
- ・ICT機器やスパイダー等を用いた学習環境の整備に加え、電子黒板を授業に活用する。
- ・3観点からの評価を明確化し、新学習指導要領への位置付けを各部ですすめる。
- ・職業コースの取り組みの充実を図る。
- ・分掌等改変後の業務内容の見直しを行い、具体的に業務削減を行う。
- ・学校HP等を活用し、本校の教育活動を発信する。

(委員)

- ・医療的ケア対象の生徒の主治医による学校見学については、医師からの指示もより具体的に  
なり、良いと思う。
- ・地域との連携による防災訓練は、実際に地域から避難してきたときに外部の人は、学校の  
様子がわからないので、いろいろな行事等の機会に合わせて、学校を知ってもらうことが必要  
である。

不審者の対応等も含め、地域の人には支援学校の生徒を助けていただくことにもつながる。

- ・新学習指導要領のねらいや内容にそって3観点評価にする。保護者にもわかりやすくするた  
めにどうしていくか。
- ・地域連携という点で、学校から地域の作業所への見学はよくあるが、地域作業所から学校  
の様子を見る機会が少ないので設定してほしい。卒業後の進路につながる、高等部の生徒の様  
子を見たい。
- ・医療的ケアの生徒の通学支援についての計画はどうなっているか？

(校長)

- ・作業所への行事の案内配布については検討したい。
- ・通学支援については、大阪府より具体的な予算案が発表され、来年度は学校看護師を定数外  
で配置する方向ですすめる。本校としては、保護者に状況を説明し利用を考えてもらう。

### ②平成31年度学校経営計画のまとめ

### ③令和2年度学校経営計画について 承認される

(4) 連絡・報告

① 今年度の進路の現状とまとめについて

(担当首席より報告)

今年度の高等部3年生の進路先の報告

早期からの進路の方向性について、地域の関係機関や支援者と連携し進めていくことが大切。  
課題としてグループホーム、入所施設利用について困難な現状

② 地域活動の報告

(支援部より報告)

一年間の活動報告

本稿のHP支援上にブログの開設

個別の支援計画を引き継げる体制の構築を実施

(5) その他

委員より意見

子供が学校に在学中、待つことや、協力体制をとって支援される力をつけてもらった。自立に向けていろいろな人に支援されることができる人になることが大切だと思う。新しいことを取り入れることができる、受け入れてくれる学校であってほしい。

(6) 閉会